

漁海況情報第12報 (2020年3月27日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表面、水深100mともに沿岸が7~8℃の水に覆われています。

宮城県沿岸の表面水温は7~8℃台、100m深水温は7~8℃台となっています。表層水温は仙台湾で1℃高め、142°E以東では2~3℃高めとなっており、水深100mでは1~2℃高めとなっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温年偏差図]。鉛直断面図からも、水深100mまで7~8℃の水が覆っていることが見てとれますが、38°Nラインの142°E以東でやや低温となっています。[P2. 水温鉛直断面図]。

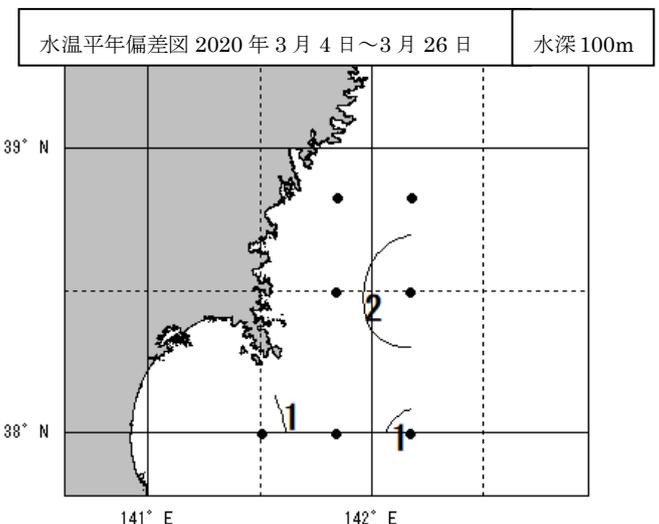
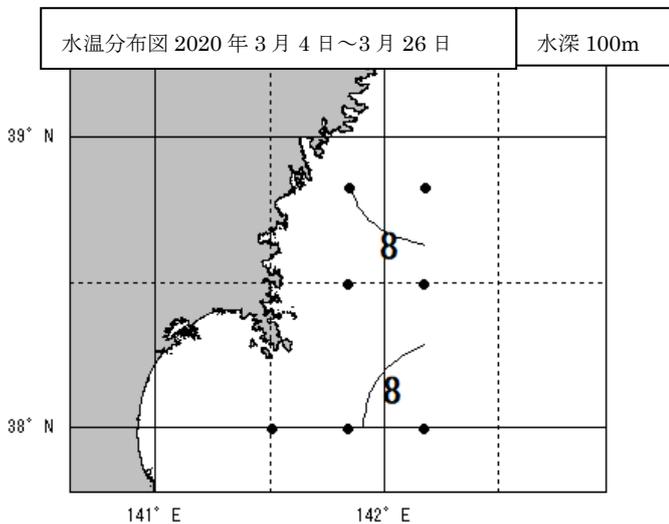
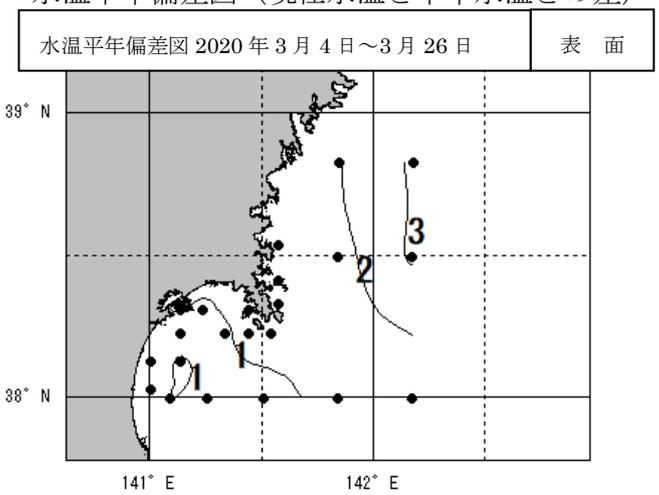
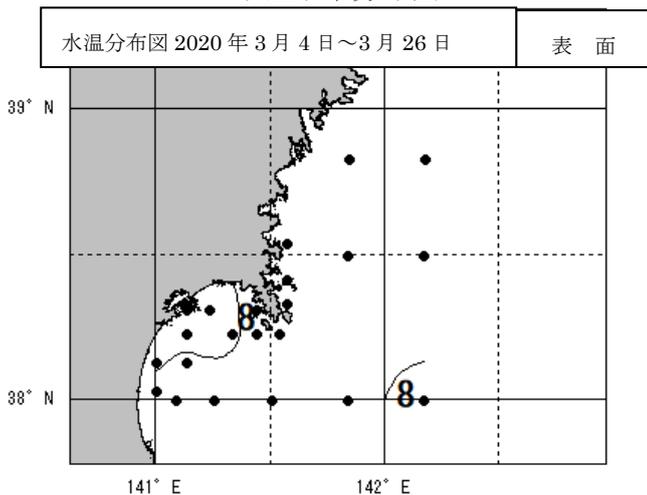
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝は尻屋崎南東40海里で停滞していますが、7℃台の冷水域が宮城沖15~50海里に分布しています。一方で宮城~青森沖60~140海里を10~11℃台の暖水が北上しています [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

3月中旬の定地水温は8~9℃台で、歌津・佐須浜で高め、他の観測点ではやや高めとなっています。

[P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は6~8℃台です [P3. 海底直上水温図]。

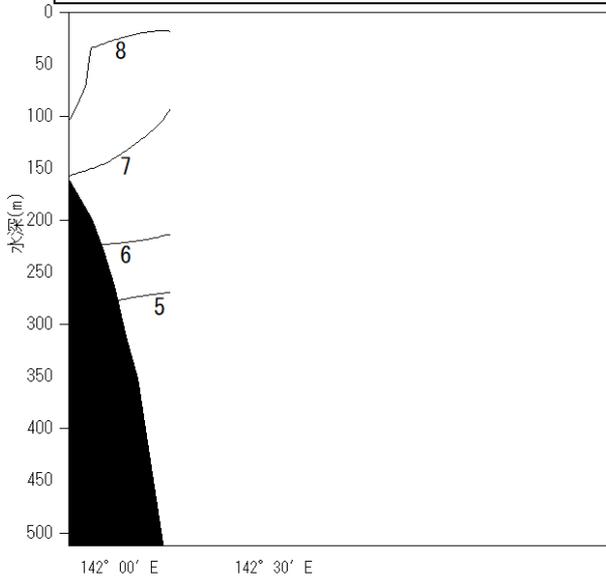
・水温水平分布図

・水温年偏差図 (現在水温と年水温との差)

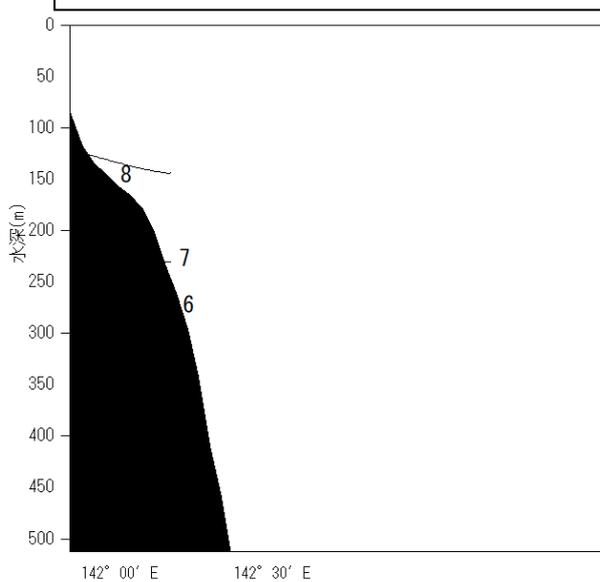


・水温鉛直断面図

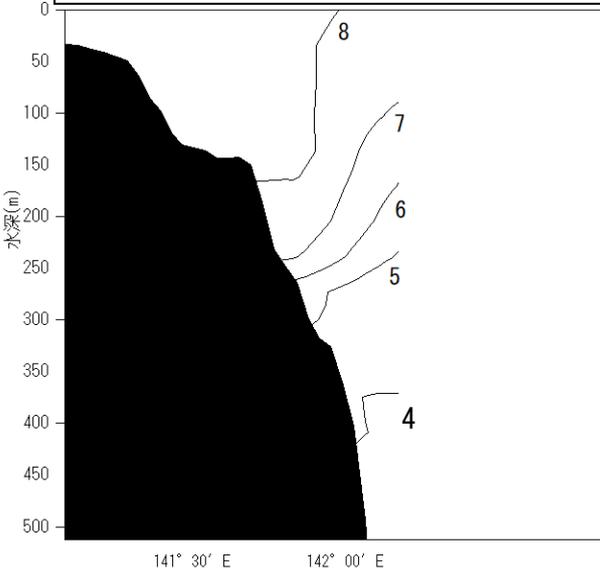
38° 50' N ライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' N ライン (雄勝沖合ライン)

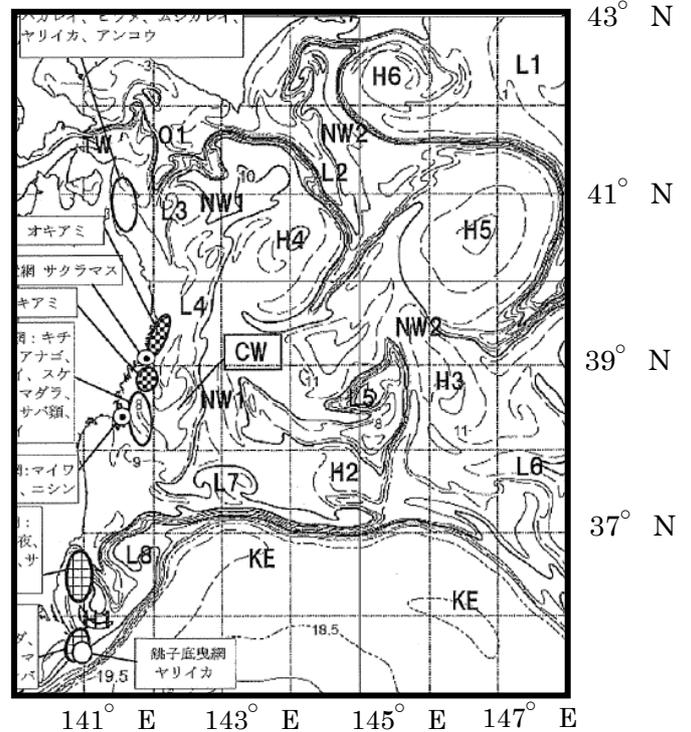


38° 00' N ライン (亶理沖合ライン)



2020年3月25日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

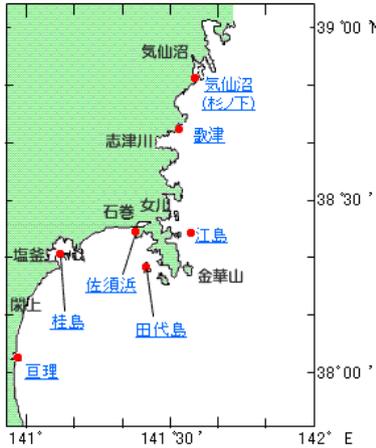
【海況】 (3月25日表面水温)

- ・親潮第一分枝は尻屋崎南東40海里で停滞, 7°C台の冷水域が宮城沖15~50海里に分布。
- ・下北~金華山沿岸に8°C台, 仙台湾~小名浜沿岸に9°C台の混合水が分布。
- ・黒潮続流はいわき沖まで北上した後, 南下。
- ・犬吠埼~小名浜に12~13°C台の暖水が接岸。
- ・宮城~青森沖60~140海里を10~11°C台の暖水が北上, 先端は尻屋崎沖東70海里に達し, 三陸沖で暖水渦を形成。

【漁況】 (3月19日~25日)

- ・まき網: 1 そうまき網は茨城沖でイワシ主体, 2 そうまき網は犬吠沖などでイナダやタチウオなど漁獲。
- ・定置網: 石巻はマイワシ主体。大船渡の1ヶ統が操業再開。
- ・オキアミ曳網: 岩手は宮古~綾里崎沖, 宮城は唐桑~歌津沖で操業。3/26の漁場は岩手県北部周辺に縮小。
- ・カツオ竿釣: 大蛇行東側の海域で操業船が増加。
- ・イカ類: 石巻底曳網の漁獲減少。
- ・タチウオ漁獲動向: 全国的に減少, 東北では2017年から増加。

・定地海洋観測



	3月中旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	8.5	やや高め	1.5	2.0
歌津	8.7	高め	1.6	2.0
江島	8.5	やや高め	1.3	1.3
田代島	8.6	やや高め	1.4	0.0
佐須浜	8.8	高め	1.6	-0.3
桂島	8.7	やや高め	1.4	0.0
亘理	9.0	やや高め	0.8	-0.1

※平年値 = 過去30年

※佐須浜(過去10年)

※歌津(平成28年12月から観測再開)

※桂島(平成24年3月から観測開始)

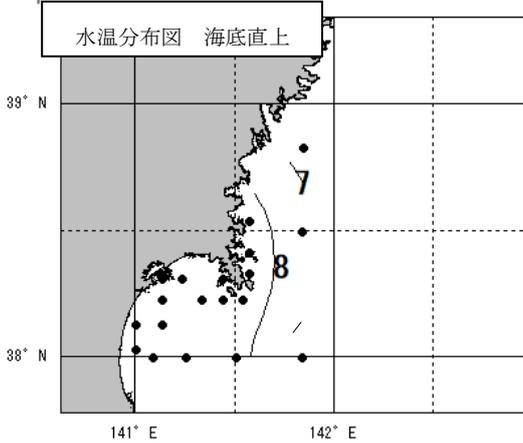
※亘理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

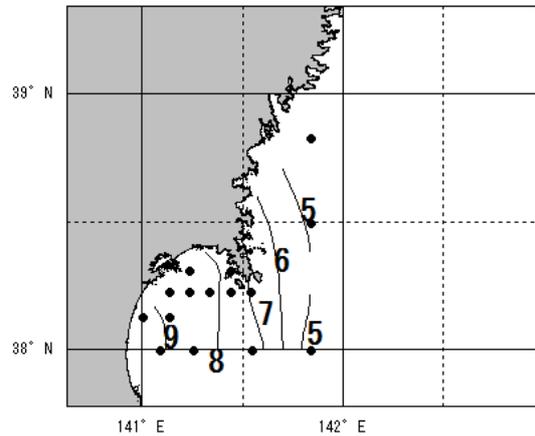
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

7. 海底直上水温(2020年3月4日～3月26日)



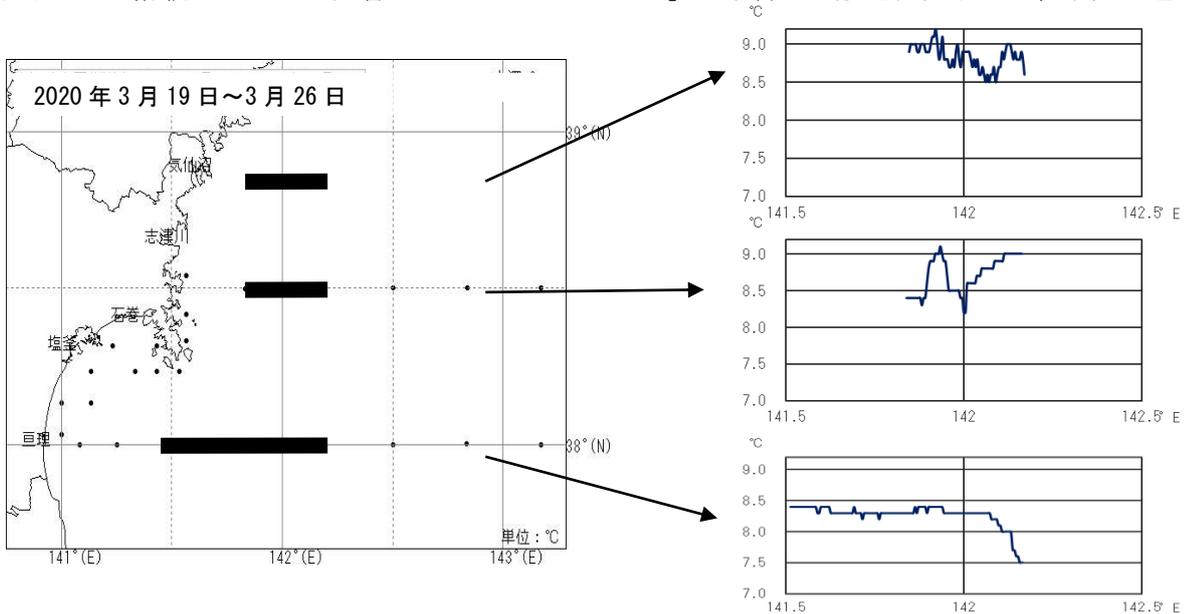
・海底直上水温(2019年3月15日～3月20日)



(※観測水深は500mまでです)

2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」による流向流速情報は、機器不調のため欠測となりました。

4. 漁況

2月の水揚量は前年と比較して、サバ類・メバチ・マイワシなどが増加しています。マダラ・スケトウダラ・カレイ類などは減少しています。

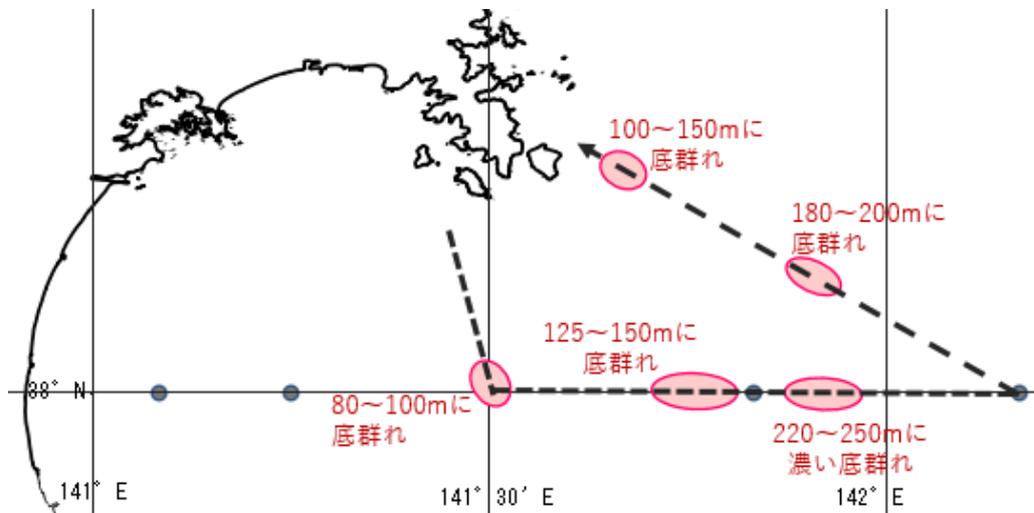
(単位：トン)

2020年2月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									213		24	237	97%
メバチ									58		1	59	124%
サバ類	458	23	8770			11	2				4	9267	153%
ヒラメ	14	5	0			0	1				1	20	72%
マコガレイ	0	6					4				6	16	41%
マガレイ		0	0			0	1				0	1	18%
ババガレイ	17	0	0			0	0				2	19	27%
スルメイカ	61	3	0			0						65	113%
ヤリイカ	186	25	0			1		0			1	213	48%
マイワシ	1	0	3230			3526					3	6760	129%
マダラ	288	53	0			65	23		0		28	458	44%
スケトウダラ	62	8	0			8	0		0		2	81	54%

※0は1トン未満を示しています。

5. オキアミ調査

3月26日の沿岸定線調査(南部海域)において、計量魚探を用いたオキアミ調査を同時に行ったところ、オキアミと思われる反応が広範囲で確認されました。全て底群れで、浮上群は確認されませんでした。



6. 調査船運航計画

みやしお	
4/3	計量魚探キャリブレーション
随時	オキアミ調査
	イカナゴ仔稚魚調査
開洋	
4/6~7	浅海定線調査
随時	イカナゴ仔稚魚調査